

# 一般質問

一般質問は、議員が一般事務に対し、その執行状況や将来の方針、政策、提言や行政課題等を執行者に直接質すものです。

YouTube で録画配信をしています。ぜひ、ご視聴ください。



No.	質問者	質問事項
1	藤島 玄稔	1. 広川町第5次総合計画
		2. 個別の事業
		3. 日本国憲法
2	山下 茂	1. 広川町財政状況
		2. 地域コミュニティ推進事業
3	竹下 英治	1. 令和8年度の予算
		2. 役場職員の人材育成等
4	江藤美代子	1. 国民健康保険
		2. 教育費の保護者負担軽減
		3. 各種基金の運用方針
5	池尻 浩一	1. 役場職員数
		2. 町の子ども・子育て
6	栗原 福裕	1. 八女消防本部広川消防署の建設

## 広川町第5次総合計画の進捗と展望は

**答**  
8割近くが  
着実に進捗している

**藤島** 令和8年度からの取り組みはどうか。  
**町長** 課題を検証し適切に対処していく。

**藤島** 個別の事業ではどうか。  
**町長** 災害復旧事業は順調に進捗している。

県営河川広川の浸水対策重点地域緊急事業は井堰の撤去や護岸工

事に着手し、統廃合する井堰や護岸の詳細設計業務に取り組み始めている。

**藤島** こどもまんなかプロジェクトはどうか。  
**町長** 企業や事業所、店舗に、のぼり旗の設置を協力いただき、地域全体で、子育てを応援していく。

**藤島** あまり進んでいないと評価されている事業はどうか。  
**町長** 空き家対策、ふるさと納税事業やDX事業がある。相手方の意思や行動が成果に直結す

### ▲附島井堰撤去工事

撤去している。また、本年度は「広川町明るい選挙推進協議会」により、中広川小学校で出前講座を実施予定である。

るから評価が低い。

### その他

主権者教育の取り組みを尋ねた。福島高校で主権者教育を実施しているが、令和6年度からは福岡財務支局の「財政教育プログラム」の出前講座」を合同で実施している。



藤島 玄稔 議員



# 広川町の財政状況は

**答** 財政規律の堅持に努める

**山下** 今後の歳入の見通しは。

**町長** 短期的には歳入増になつてはいるが、長期的には人口減等による緩やかな減少傾向を予測している。税制改正で1500万円の減収が予測されるが交付税で補填される。

**山下** 今後の歳入の見通しは。

**町長** 長期的な見通しは難しいが、歳入は減少傾向にはならないと考へている。危機感を持った行財政運営を行い、将来に過度な負担を残さないように努める。

**山下** 基金のファンドなどへの運用は。



山下 茂 議員

**町長** 地方自治法に、確実かつ、効率的に運用しなければならぬとある。今後、調査研究を行つていく。

**その他**

行政区の現状と地域コミュニティ推進事業について尋ねた。

未加入世帯の増加や人口の偏在などの課題もある。固定的な枠組みにとられない展開が必要であり、実務レベルの共同化・行事の

合同開催など緩やかな連携も考へている。また、この事業は自治会の大きな基盤となり地域課題の解決につながった。制度継続の声もあり2年間の延長を設定したとの答弁を得た。



▲川瀬区もちつき大会

# 人材育成基本方針の進捗状況は

**答** 土台となる仕組作りは確実に始動している

**竹下** 現在の広川町人材育成基本方針は、令和7年3月に10数年振り

に改正されたものである。役場職員の町民との接し方に関して、改正前の同方針では「職員の一方的な考え

方ではなく、町民の視点を持った行政需要に的確に対応する」という一文が明記されてい

たが、町民の方の役場職員に関する意見として、「ワンストップの

対応がない」「町民への挨拶が少ない」「電話対応等で名前を言わない」等の不満を伺う。

私は役場職員を公僕であると思つている。この公僕の視点から、副町長の見解を伺いたい。

**副町長** 現同方針では「仕事への使命感と自ら踏み出すコミュニケーション」の言葉で町民との交流の重要性を掲げている。人と人との関わりであり、気持ち良く挨拶をして、所属や氏名を明確にする等しっかりと職責をもった状態で対応して行く事は公務員として大変重要な事であり、基礎でもあると理解している。住民

サービスのも更なる拡充につき、職員一人一人が理解、徹底できるよう努める。



竹下 英治 議員



▲役場案内窓口

# 基金は活きた活用を

**答** 活用を進めている基金もあるが、使う余地のある基金は、活用していく

**江藤** 各種基金は、増加傾向である。その額や使途計画について、住民にきちんと説明されなければならぬ。どんな計画、方針を持っているのか。

**町長** ふるさと創生基金は、竜光寺公園改修事業に全額を活用する。また、ふるさとづくり基金は、令和8年度からは、目的別残高の1/2を上限として積極的に充当する。学校建設、公共施設整備基金は、長寿命化のため大規模な改修費用に充てる。

**江藤** 10年以上、額が変わらず貯め込んでいる基金の活用は。

基金残高一覧表  
(令和6年度決算より)

単位：千円

基金名	残高
財政調整	1,820,905
減債	360,432
公共施設整備	849,190
学校建設	654,189
ふるさと創生	104,459
ふるさとづくり	158,834
災害対策	17,686
鶴寿奨学金	20,216
最終処分場対策	41,964
地域振興	35,019
中山間ふるさと水と土保全	10,478
地域振興	35,019
土地開発	1,662
合計	4,110,053

**町長** 有効な活用を検討する。

**江藤** 高校就学支援金があるが、制服代、入学金、教材費、通学費など負担は大きい。鶴寿奨学金の再開を求める。

**町長** 公立高校授業料無償化、私立の就学支援金制度が開始され、給付は廃止した。効果的な基金運用となるよう研究を進める。



江藤美代子 議員

**その他**  
副教材費などの保護者負担軽減を求めた。ドリルなども含め精査していくとの答弁を得た。

# こどもまんなかプロジェクトの 今後は

**答** 地域、団体との連携で取り組んでいく

**池尻** こども施策に関しては既に一定の成果が見られる。今後の変更、取り組みはどのようか。

**町長** 公園整備、公民館活用等の居場所づくり、デジタルインフラ整備等を進めていく。こども施策に対しては地域連携で一丸となつて今後も取り組んでいく。

**町長** 繋がる部分は多い。そのプロセスやデジタル化、ICT化に取組む中でも職員のスキルアップにも繋がっている。

**池尻** 高齢者からはこども施策ばかりで、高齢者支援が疎かになっていないかという声もある。説明周知が必要ではないか。



池尻 浩一 議員

**町長** こ指摘を受けている。高齢者支援は継続して行っている。こどもまんなかプロジェクト

**その他**  
役場職員の定数、適正数について質問した。まだ人員が足りていない、人事評価や人材育成についても検討していくとの答弁であった。

**池尻** 少子化対策にも繋がる取組みか。



▲地域に広がるこどもまんなかプロジェクト

# 広川消防署の 建設予定時期・場所の考えは

**答** 具体的な協議は行っていない。  
用地については検討する

**栗原** 広川消防署は、  
広川分署として、8名  
体制で業務がスタート  
している。人口増加等

時点では、具体的な建  
設時期や場所、規模な  
どの協議は行っていな  
い。

により、業務量が増加  
し現在は21名体制と  
なっている。事務室等  
も手狭であり建て替え  
が必要である。広川消  
防署の建替え時期等を  
どう考えているのか。

**栗原** 現在八女消防本  
部庁舎は、令和9年度



▶ 55年経過した  
広川町消防署



栗原 福裕 議員

に完成予定である。広  
川消防署の建設場所に  
ついては、広川町で確  
保する必要がある。本  
部庁舎の完成を待つて  
いたら遅いのではない  
か。

**町長** 広川消防庁舎の  
用地については、その  
建設地である自治体で  
確保する事となっている。  
用地選定等の準備  
は先行して進める事が  
可能なため、対応して  
いく。

## 議長表彰

光益議長は、令和8年2月6日、全国町村議会議長会より表彰を受けられました。光益議長は、福岡県町村議会議長会の副会長を務められ、町村議会の運営及び地域の振興・発展に貢献されました。



## お詫びと訂正

議会だより100号P16の  
タイトルに誤りがありまし  
た。お詫びし訂正いたします。  
公立八女総合病院企業団議会

平成6年→令和6年

